

## 広域的な地域活性化計画の事後評価報告シート（1）

都道府県名： 鹿児島県

計画の名称： 九州西南地域における広域的な観光活性化

### 1) 事業の実施状況

計画の整備方針	事業区分	事業名	事業実施状況	事業未実施の理由
①拠点施設へのアクセス時間の短縮及び快適性を高める	基幹事業	道路拡幅事業 5箇所	○	
		バイパス整備事業 3箇所	○	
②基幹事業と一体となってその効果を一層高める広報活動、調査を展開する	効果促進事業	国民文化祭・かごしま2015 PR事業	—	他事業にて対応したため
		道路情報等提供事業	—	道の駅等における提供方法についての各県取りまとめが遅れたため

○：計画期間中に完成 △：計画期間終了後に完成見込み —：事業を中止

### 2) 目標の達成状況

計画目標	事業効果の確認方法	指標名	従前値	目標値	評価値
東九州自動車道（北浦IC～須美江IC H25完成、鹿屋串良IC～曾於弥五郎IC H26完成）、九州横断自動車道延岡線（蔵田～北方IC H27完成）、西九州自動車道（山代IC～今福IC H27完成）及び南九州西回り自動車道（芦北IC～津奈木IC H27完成目標、高尾野IC～野田IC H28完成目標等）の段階的な開通、九州新幹線（鹿児島ルート）の全線開業（H23.3）、外国クルーズ船における九州への寄港回数の増加及び多彩な観光列車の運行などを契機に、既存交通網と連携強化を図ることで、九州西南部（長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県）での本州やアジアからの観光客増加が期待される。また、九州西南部地域の交通拠点（新幹線駅、高速道路IC、空港、港湾等）と拠点施設（景勝地、歴史資料館、温泉街等）、拠点施設間のアクセス道路、観光案内及び観光PRなどを広域的に連携して整備することにより観光宿泊者数を増大させ、観光活性化を図る。〔九州西南部4県が、アクセス道路（国道324号、389号等）などのハード整備や道路情報等提供事業などのソフト整備を相互に連携協力して行い、観光活性化を図る〕 また、薩摩・大隅半島振興計画地域におけるアクセス道路の整備促進により、域内連携や観光活性化等を図る。	計画で定めた目標指標	①宿泊観光客数	524万人（H23年）	550万人（H29年）	619万人（H29年）
		②外国人宿泊観光客数	8.5万人（H23年）	13万人（H29年）	58万人（H29年）
		③旅行消費額	1,286億円（H22年）	1,402億円（H29年）	1,419億円（H29年）
		④拠点施設観光入込客数	243.6万人（H23年）	266.3万人（H29年）	217.9万人（H29年）
		⑤薩摩・大隅地域の拠点施設観光入込客数	84.8万人（H23年）	121万人（H29年）	79.5万人（H29年）
その他の定性的な成果		・広域的な圏域としての取り組み 高速道路や空港・港湾などへのアクセス強化による交流活性化支援のための道路整備を推進した。  ・半島振興に資する取り組み 薩摩半島振興計画、大隅半島振興計画に基づく半島アクセス道路、地域間・域内交通の促進及び観光地へのアクセス道路の整備を推進した。			

## 広域的地域活性化計画の事後評価報告シート（２）

### 3) 目標達成・未達成への事業の効果の影響分析

事業効果の確認方法						その他定性的な成果
	①宿泊観光客数	②外国人宿泊観光客数	③旅行消費額	④拠点施設の観光入込客数	⑤薩摩・大隅地域の拠点施設観光入込客数	広域的な圏域としての取り組み
事業効果の発現状況	・道路の拡幅事業等により鹿児島空港、鹿児島中央駅や鹿児島港からのアクセスが向上し観光宿泊客が増加	・道路の拡幅事業等により鹿児島空港、鹿児島中央駅や鹿児島港からのアクセスが向上し観光宿泊客が増加	・道路の拡幅事業等により鹿児島空港、鹿児島中央駅や鹿児島港からのアクセスが向上し観光入込客が増加	・鹿児島空港と妙見温泉等を繋ぐ道路整備は、計画期間中に完成に至らなかった	・周辺からのアクセス性が向上し佐多岬公園への観光入込客数は増加	・高速道路や空港・港湾などへのアクセス強化による交流活性化支援のための道路整備を推進した
外部要因の影響	・H22九州新幹線全線開通による効果やクルーズ船寄港の増加	・H22九州新幹線全線開通による効果やクルーズ船寄港の増加	・H22九州新幹線全線開通による効果やクルーズ船寄港の増加	・霧島の新燃岳や口永良部島の火山活動、また鳥インフルエンザ等の影響により関係施設利用者が減少	・霧島の新燃岳や口永良部島の火山活動、また鳥インフルエンザ等の影響により関係施設周辺が間接的に影響を受け、教育旅行関係が減少	
目標達成・未達成の要因（問題点の把握）	・宿泊観光客数について目標を達成した	・外国人宿泊観光客数について目標を達成した	・旅行消費額について目標を達成した	・空港や港と域内交流拠点のアクセス性は向上したが、目標達成に至らなかった	・空港や港と域内交流拠点のアクセス性は向上したが、目標達成に至らなかった	
目標の達成・未達成区分	B	B	B	C	C	
全体計画の総合評価	鹿児島県全体としては、H28の熊本地震の影響はあったものの、H22九州新幹線全線開通による効果やクルーズ船寄港の増加等により外国人を含めた県外観光客が増加し、宿泊客数や旅行消費額が伸びている。拠点施設や薩摩・大隅地域に限定すると、霧島の新燃岳や口永良部島の火山活動、また鳥インフルエンザ等の影響により関係施設では伸び悩んでいる。その他、教育旅行やスポーツ合宿等の変動も影響の一つであり、移動手段である大型バスやレンタカー等の利用促進に向け、今後も制度を活用した整備を進めていきたい。					

S：計画推進による効果が確認され、評価値も目標値を上回った  
A：計画推進による効果が確認されたが、評価値が目標値には達していない  
B：計画推進による効果が確認できなかったが、評価値が目標値を上回った  
C：計画推進による効果が確認できず、評価値も目標値には達していない

### 4) 事後評価の手続き

実施体制・実施時期	—
結果の公表方法	鹿児島県ホームページにて公表を行うこととする <a href="https://www.pref.kagoshima.jp/ah01/infra/kokyo/hoshin/shakaishihon.html">https://www.pref.kagoshima.jp/ah01/infra/kokyo/hoshin/shakaishihon.html</a>

## 広域的地域活性化計画の事後評価報告シート（3）

### 5) 今後の活性化方策の検討

#### ①未達成目標の改善方策

計画で定めた目標指標	目標の達成状況	改善方策
観光入込客数	C	南薩地区、霧島地区の観光拠点のアクセスを改善し、域内観光地の周遊性を高め、滞在型も含めた観光活性化、観光入込客数の増加を図る

#### ②今後の広域的地域活性化方策

鹿児島県においては、鹿児島空港の空ルート、鹿児島港や志布志港の海ルートを経て、鉄道や高速道路等の幹線道路を利用した「温泉アイランド九州広域観光周遊ルート」等の観光周遊ルートが形成されており、県内外から多くの観光客が訪れている。また大型クルーズ船の九州への寄港回数が増えたことにより、外国人観光客を含めた圏域外利用者が訪れている。

東九州自動車道等の段階的な開通と併せて既存交通網と連携強化を図ることで、鹿児島・宮崎両県の更なる観光客増加が期待されるなか、温暖な気候を活かしたスポーツキャンプの誘致による観光推進など、食・自然・文化・歴史など各地域の特徴を活かした滞在型観光にも力を入れているところである。

日本ジオパークに登録されている「霧島地域」などの雄大な自然景観を有している九州南部地域にて、周辺の温泉や登山、歴史散策といった滞在型観光の魅力情報を発信する、関係自治体や地元観光協会等と連携した、これら景勝地等へのルート整備を行うことで観光宿泊客数を増大させ、観光活性化を図る。

### 6) フォローアップ

計画目標	フォローアップが必要な目標指標	フォローアップ時期	フォローアップの公表方法
フラワーパークかごしま、妙見・安楽温泉郷、霧島神宮温泉郷周辺を核として観光拠点へのアクセス改善と拠点施設の集客力向上により滞在型も含めた観光活性化を図る	①観光入込客数	H33年3月	県ホームページにて掲載予定

# 社会資本総合整備計画（広域連携事業）

平成28年 3月 1日

計画の名称	九州西南部地域における広域的な観光活性化（第2回変更）			重点計画の該当	
計画・交付期間	平成25年度 ～ 平成29年度（5年間）	交付対象	鹿児島県（長崎県、熊本県、宮崎県と連携）		
計画の目標 広域的特定活動	東九州自動車道（北浦IC～須美江IC H25完成、鹿屋串良IC～曾於弥五郎IC H26完成）、九州横断自動車道延岡線（蔵田～北方IC H27完成）、西九州自動車道（山代IC～今福IC H27完成）及び南九州西回り自動車道（芦北IC～津奈木IC H27完成目標、高尾野IC～野田IC H28完成目標等）の段階的な開通、九州新幹線（鹿児島ルート）の全線開業（H23.3）、外国クルーズ船における九州への寄港回数の増加及び多彩な観光列車の運行などを契機に、既存交通網と連携強化を図ることで、九州西南部（長崎県、熊本県、宮崎県、鹿児島県）での本州やアジアからの観光客増加が期待される。また、九州西南部地域の交通拠点（新幹線駅、高速道路IC、空港、港湾等）と拠点施設（景勝地、歴史資料館、温泉街等）、拠点施設間のアクセス道路、観光案内及び観光PRなどを広域的に連携して整備することにより観光宿泊者数を増大させ、観光活性化を図る。〔九州西南部4県が、アクセス道路（国道324号、389号等）などのハード整備や道路情報等提供事業などのソフト整備を相互に連携協力して行い、観光活性化を図る〕 また、薩摩・大隅半島振興計画地域におけるアクセス道路の整備促進により、域内連携や観光活性化等を図る。				
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>【長崎県・熊本県・宮崎県・鹿児島県 共通目標】 延べ宿泊者数2,256万人(H23)から2,432万人(H29年度末)に増加（176万人の増加）</li> <li>鹿児島県における延べ宿泊者数を524万人（H23）から550万人（H29）に増加</li> <li>【長崎県・熊本県・宮崎県・鹿児島県 共通目標】 外国人延べ宿泊者数65.4万人(H23)から112万人(H29年度末)に増加（47万人の増加）</li> <li>鹿児島県における外国人延べ宿泊者数を8.5万人（H23）から13万人（H29年度末）に増加</li> <li>【長崎県・熊本県・宮崎県・鹿児島県 共通目標】 旅行消費額(H22)から4,708億円から5,150億円(H29年度末)に増加（442億円の増加）</li> <li>鹿児島県における旅行消費額を1,286億円（H22）から1,402億円（H29年度末）に増加</li> <li>鹿児島県における観光拠点施設の延べ観光客数を243.6万人（H23）から266.3万人（H29）に増加</li> <li>鹿児島県における薩摩・大隅半島振興対策地域内の観光拠点施設の延べ観光客数を84.8万人（H23）から121.0万人（H29）に増加</li> </ul>				
定量的指標の定義及び考え方	定量的指標の現況値及び目標値			評価の実施予定	
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	中間： 事後 平成30年10月予定	
	(H23)		(H29年度末)	備考	
				H23	H29年度末
【長崎県・熊本県・宮崎県・鹿児島県 共通目標】 延べ宿泊者数 (延べ宿泊者数の増加割合) = (評価時点の延べ宿泊者数 - H23の延べ宿泊者数) / (H23の延べ宿泊者数)	2,256万人		2,432万人 (8%増)	長崎県 699万人	731万人
鹿児島県における延べ宿泊者数 (延べ宿泊者数の増加割合) = (評価時点の延べ宿泊者数 - H23の延べ宿泊者数) / (H23の延べ宿泊者数)	524万人		550万人 (5%増)	熊本県 723万人	823万人
【長崎県・熊本県・宮崎県・鹿児島県 共通目標】 外国人延べ宿泊者数 (外国人延べ宿泊者数の増加割合) = (評価時点の外国人延べ宿泊者数 - H23の外国人延べ宿泊者数) / (H23の外国人延べ宿泊者数)	65.4万人		112万人 (71%増)	宮崎県 310万人	328万人
鹿児島県における外国人延べ宿泊者数 (外国人延べ宿泊者数の増加割合) = (評価時点の外国人延べ宿泊者数 - H23の外国人延べ宿泊者数) / (H23の外国人延べ宿泊者数)	8.5万人		13.0万人 (52%増)	鹿児島県 524万人	550万人
【長崎県・熊本県・宮崎県・鹿児島県 共通目標】 旅行消費額 (旅行消費額の増加割合) = (評価時点の旅行消費額 - H22の旅行消費額) / (H22の旅行消費額)	4,708億円	H22	5,150億円 (9%増)	長崎県 1,683億円(H22)	1,732億円
鹿児島県における旅行消費額 (旅行消費額の増加割合) = (評価時点の旅行消費額 - H22の旅行消費額) / (H22の旅行消費額)	1,286億円	H22	1,402億円 (9%増)	熊本県 1,326億円(H22)	1,537億円
鹿児島県における観光拠点施設の延べ観光客数 (延べ観光客数の増加割合) = (評価時点の観光客数 - H23の観光客数) / (H23の観光客数)	243.6万人		266.3万人 (9%増)	宮崎県 413億円(H22)	479億円
鹿児島県における薩摩・大隅半島振興対策地域内の観光拠点施設の延べ観光客数 (延べ観光客数の増加割合) = (評価時点の延べ観光客数 - H23の延べ観光客数) / (H23の延べ観光客数)	84.8万人		121.0万人 (43%増)	鹿児島県 1,286億円(H22)	1,402億円
	※鹿児島県の数値は、「観光庁宿泊旅行統計」の「従業者数10人以上の施設」データ及び「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」データを使用している。				
拠点施設・重点地区	〔拠点施設〕 フラワーパークかごしま（薩摩半島地域）、知覧特攻平和会館（薩摩半島地域）、出水市ツル観察センター、始良市蒲生地区(大クス)、妙見温泉郷、かのやばら園（大隅半島地域）、佐多岬地区（大隅半島地域）、鹿児島空港ビル、鹿児島中央駅、川内駅、指宿駅（薩摩半島地域）、出水駅、垂水フェリーターミナル（大隅半島地域）				

関係県との連携の内容、進め方										
(連携内容) 九州観光PR事業(長崎県・熊本県・宮崎県・鹿児島県と連携) 南九州観光情報発信事業(熊本県・宮崎県・鹿児島県と連携) (進め方) ・九州観光推進機構(H17～)と連携し、国内外からの誘客戦略として、修学旅行の誘致、航空会社・鉄道会社との連携、PR活動等を行う。 ・年に1回、4県で「連絡会議」を行い、目標の達成状況等を報告し、必要に応じて、事業の見直し等を図る。また、「連絡会議」に留まらず、常に、情報を共有できるようにしておく。 ・各県内部の部局横断を図り、本整備計画以外の事業の情報も入手し、効果的な事業展開を行う。 ・南九州広域観光ルート連絡協議会、南九州教育旅行誘致受入対策会議等、観光部局主体の会議との連携を図り、効果的な事業展開を行う。										
全体事業費	合計 (A+B+C)	3,970百万円	A	3,960百万円	B	0百万円	C	10百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.25%

交付対象事業	
事業概要	
整備方針	整備方針に合致する主な事業
①	拠点施設へのアクセス時間の短縮及び快適性を高める (基) 道路拡幅5箇所、B P整備3箇所
②	基幹事業と一体となってその効果を一層高める広報活動、調査を展開する (効) 道路情報等提供事業

(参考) 交付対象事業に関連して実施される主な事業	
東九州自動車道(北浦IC~須美江IC間)	: (事業主体: 国土交通省九州地方整備局、平成25年度完成)
東九州自動車道(日向IC~都農IC間)	: (事業主体: 西日本高速道路(株)、平成25年度完成)
東九州自動車道(鹿屋串良JTC~曾於弥五郎IC間)	: (事業主体: 国土交通省九州地方整備局、平成26年度完成)
九州横断自動車道延岡線(蔵田~北方IC間)	: (事業主体: 国土交通省九州地方整備局、平成27年度完成)
西九州自動車道(山代IC~今福IC間)	: (事業主体: 国土交通省九州地方整備局、平成27年度完成)
南九州西回り自動車道(芦北IC~津奈木IC間)	: (事業主体: 国土交通省九州地方整備局、平成27年度完成目標)
南九州西回り自動車道(高尾野IC~阿久根IC間)	: (事業主体: 国土交通省九州地方整備局、高尾野IC~野田IC: 平成28年度完成目標、野田IC~阿久根北IC: 平成27年度完成、阿久根北IC~阿久根IC: 平成26年度完成)
南九州西回り自動車道(薩摩川内高江IC~薩摩川内都IC間)	: (事業主体: 国土交通省九州地方整備局、平成26年度完成)

A1 広域連携事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											H25	H26	H27	H28	H29			
1-A1-1	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	県道	改築	(主) 指宿鹿児島インター線・池田工区	現道拡幅 L=2.3km	指宿市						630	薩摩半島地域	
1-A1-2	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	県道	改築	(一) 石垣喜入線・青戸工区	現道拡幅 L=0.7km	南九州市						250	薩摩半島地域	
1-A1-3	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	国道	改築	(国) 389号・田尻拡幅	バイパス L=0.7km	長島町						300	3県連携	
1-A1-4	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	県道	改築	(一) 荒崎島の浜港線・西辺田2工区	現道拡幅 L=1.1km	出水市						500	3県連携	
1-A1-5	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	県道	改築	(主) 伊集院蒲生溝辺線・蒲生工区	バイパス L=1.5km	始良市						850		
1-A1-6	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	県道	改築	(一) 犬飼霧島神宮停車場線・安楽工区	現道拡幅 L=0.6km	霧島市						500		
1-A1-7	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	県道	改築	(主) 鹿屋吾平佐多線・郡工区	バイパス L=1.3km	南大隅町						630	大隅半島地域	
1-A1-8	道路	一般	鹿児島県	直接	鹿児島県	県道	改築	(一) 永吉高須線・上浜田工区	現道拡幅 L=0.8km	鹿屋市						300	大隅半島地域	
小計(広域連携事業)																3,960		
合計																	3,960	

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
											H25	H26	H27	H28	H29			
合計																	0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考		

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
1-C-1	活動支援	一般/離島	鹿児島県	直/間	県/協議会	—	国民文化祭・かごしま2015 PR事業	PR事業	県内全域						0	廃止
1-C-2	活動支援	一般/離島	鹿児島県	直接	—	—	道路情報等提供事業	道の駅を活用した道路等の情報提供	県内全域						10	
合計														10		

番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C-1	基幹の道路事業と一体となって、「国民文化祭・かごしま2015」の積極的な広報宣伝活動を行う事で国内外の方々に、鹿児島県の魅力を広め、合わせて観光地として十分にPRを行うことで、国内外からの誘客を促進する。															
1-C-2	基幹の道路事業と一体となって、「道の駅」等を活用した道路情報を提供することで観光客の「安心・安全・確実」を推進させる。															

その他															
(広域的な圏域としての取り組み) 高速道路や空港・港湾などへのアクセス強化による交流活性化支援のための道路整備推進 → 1-A1-1～1-A1-3, 1-A1-5, 1-A1-6 (半島振興に資する取り組み) 薩摩半島振興計画 (P18, 19, 30, 31, 43～45) として、地域間・城内交通の促進及び観光地へのアクセス道路の整備推進 → 1-A1-1, 1-A1-2 大隅半島振興計画 (P19, 31, 32, 33, 46～48) として、半島アクセス道路、地域間・城内交通の促進及び観光地へのアクセス道路の整備推進 → 1-A1-7, 1-A1-8															



(参考図面) 社会資本総合整備計画 (広域連携事業)

